

3. 工事の見学を希望される方へ

工事案内所のご紹介

武蔵水路上流部改築工事の工事現場を安全に見学いただける工事案内所を開設しています。

見学を希望される方は、**事前に武蔵水路改築建設所（調整課）までご連絡ください。**なお、工事の状況によってはご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。



職員による工事説明の様子



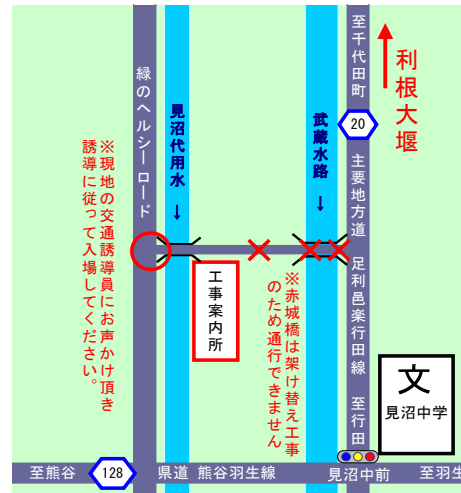
工事案内所



展望デッキからの眺め



- ← 案内所内部
- ・各種パネルを使って事業の概要や工事の進め方についてご説明します。
 - ・また工事材料の見本を展示しています。



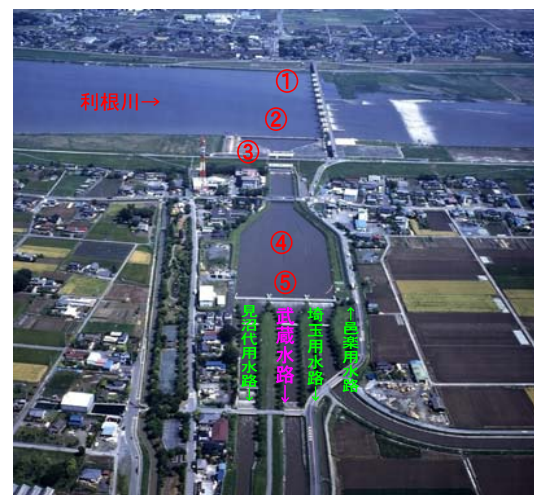
工事案内所へのアクセスマップ

4. 武蔵水路施設の紹介 シリーズ①

「むさし水路だより」では武蔵水路施設の役割等をご紹介（連載）していきます。初回は、水路の起点「利根大堰と大分水工」についてです。

利根大堰と大分水工

- ①利根大堰
利根川（延長約322km）のほぼ中央（河口から約154km）に位置する幅約700mの堰で、12門のゲートで水位を一定に保ち安定した取水を可能にします。
- ②取水口
幅124mの扇形をした水の取り入れ口です。最大毎秒115立方メートルを取水します。
- ③須加樋管ゲート
樋管（堤防を貫く管）に流れる水の量を調整します。
- ④沈砂池
土砂などが水路に流れ込まないように取り入れた水の流れを緩やかにして、土砂などをここに貯めます。
- ⑤大分水工ゲート
見沼代用水路、武蔵水路、埼玉用水路、邑楽用水路の4門を操作し各水路に流す水の量を調整します。



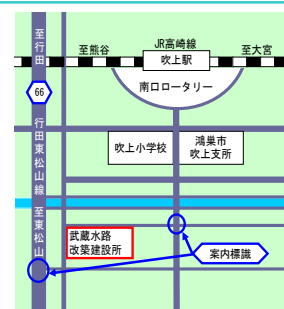
お問い合わせ

事業にかかる詳細な情報は、行田市の各公民館等、鴻巣市の一部公民館等でご覧いただけるほか、当機構のホームページでもお知らせしています。ご不明な点がございましたら、下記までご連絡下さい。

独立行政法人
水資源機構
〒369-0137 埼玉県鴻巣市大芦827番地
TEL 048-549-1851 FAX 048-548-4901

武蔵水路改築建設所

ホームページ <http://www.water.go.jp/kanto/tono/>
E-mail musashisuiro@mta.biglobe.ne.jp



回覧

むさし水路だより

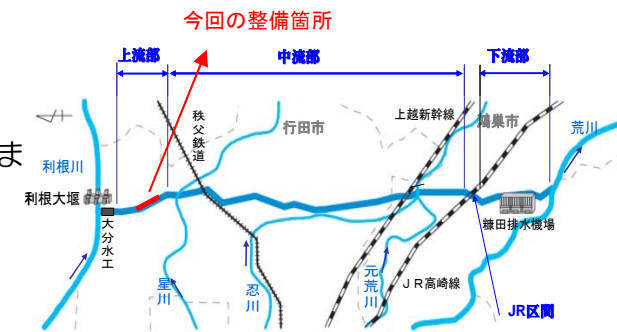
No.2
2011年12月

武蔵水路改築事業に関する情報を皆さまにお知らせするために、武蔵水路改築建設所では「むさし水路だより」を発行しています。
「むさし水路だより」は、改築事業の進捗状況にあわせて適宜発行していきます。

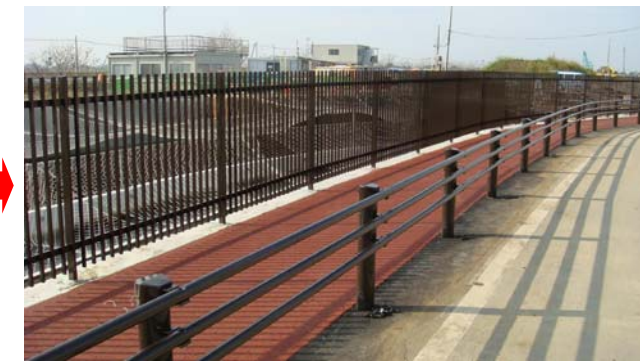
1. 水路周辺整備の進捗状況

武蔵水路改築事業では、地域の皆さまから頂いたご意見等をふまえて、水路の周辺整備を実施しています。

平成22年10月から工事を開始した武蔵水路上流部の改築工事では、平成23年5月から周辺整備に着手し、管理用通路を一部区間で設置しました。



（整備前）歩道のスペースがない状況



（整備後）管理用通路の設置

(1) 安全性および景観に配慮したフェンス

- ・水路沿いに設置するフェンスの高さは、安全性を考慮し、1.5mとしました。
- ・一般的な小学生の靴のサイズ等を参考に、容易に足掛けが出来ないように、縦格子タイプのフェンスとしています。
- ・また、フェンスの格子間隔は、景観に配慮し、見通しを確保しています。
- ・なお、橋梁部やより安全が必要な箇所では、1.8mのフェンス設置を計画しています。



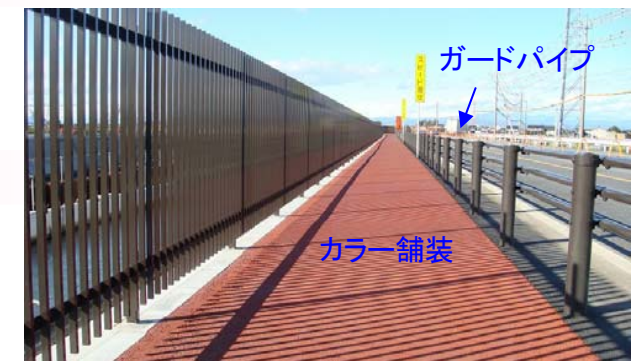
安全性、見通しを確保したフェンス

(2) 管理用通路のカラー舗装

- ・管理用通路（幅2m）の舗装については、皆さまからのご意見をふまえ、地域の特性を考慮した色としました。

(3) 景観配慮型ガードパイプの設置

- ・車両用防護柵（ガードレール）については、安全性の確保を前提に、景観にも配慮してガードパイプ（濃茶色）を設置しました。



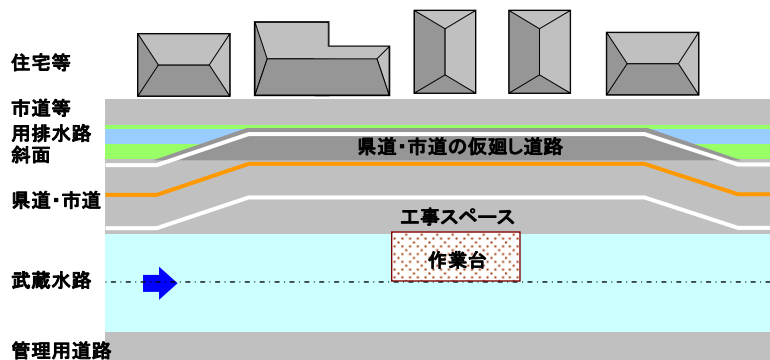
カラー舗装と景観配慮型ガードパイプ

2. 武蔵水路改築工事のすすめ方

皆さまのご理解、ご協力のもと、平成23年7月から道路の仮廻し、水路内への鋼矢板設置等の仮設工事を実施してきました。
水を流しながらの工事となる本事業では、水の需要が少なくなる12月から来年5月にかけて水路本体工事を実施します。ここではあらためて、標準的な工事の進め方についてご紹介します。

(1) 施工スペースの確保

・工事による交通規制の低減を図るため、仮廻し道路を設置します。また、工事スペースを確保するために水路上に鋼製の作業台を設置します。



道路仮廻しのイメージ



着工前の状況



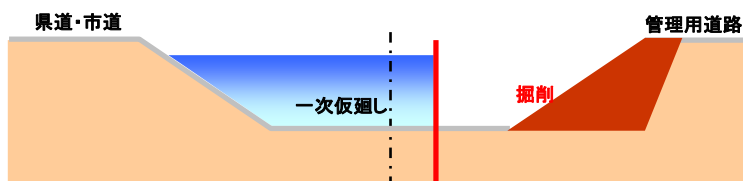
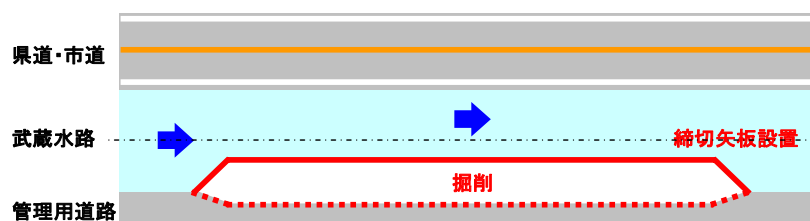
道路の仮廻し状況



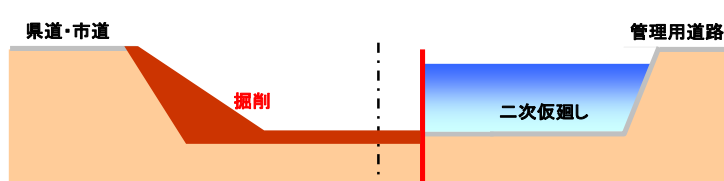
設置された作業台

(2) 水路の仮廻し

・武蔵水路を流れる水は、首都圏の水道水や工業用水となるため、水を止めることができません。このため、工事に際しては鋼矢板（鉄の板）という鉄の板で水路を半分に仕切って水を流しながら工事を実施します。



①鋼矢板で水路を半分に仕切って水がなくなった側の水路幅を拡張します。



②前述の①で拡張した側の水路（仮廻し水路）に水を切り替えます。

(3) 水路本体の構築

・将来の点検、維持管理、修繕工事を可能とするため、改築後の水路は2連水路となります。
・仮廻し水路で水の流れを切り替えながら、新しい水路を半分ずつ造っていきます。



①仮廻し水路に水を流しながら、水のない反対側の水路の工事を行い水路の半分を造ります。

②①で造った水路に水を流しながらもう半分の水路を造り2連の水路が完成します。

topics

サケの採卵会開催！（利根大堰）

平成23年11月12日（土）に利根大堰（利根導水総合事業所）でサケの採卵会を開催しました。
今年で5回目となるこのイベントは1,000人をこえる方々にご来場いただき、地域のイベントとして定着しつつあります。



行田市内一斉空き缶回収運動に参加！

平成23年11月20日（日）に行田市コミュニティー協議会主催の空き缶回収運動に参加しました。
当日は、秋晴れの中、武蔵水路沿いを中心に30袋以上の空き缶やゴミを回収しました。

